

平成23年度鈴鹿市立天名小学校研修計画

研究主題	自分の思いや考えを伝え合う子どもをめざして ～国語科を中心にして～
教科 領域等	国語科

1 主題設定の理由

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため
- (2) これまでの研究経過と児童の実態を踏まえて
- (3) 新学習指導要領の実施を踏まえて

2 子どもにつけさせたい力

- (1) 自分の思いや考えを「話す」力、相手が何を伝えたいかを正確に「聞く」力
互いの考えを深めていく「話し合う」力
- (2) 自分の思いや考えを「書く」力
- (3) 叙述をもとに正しく豊かに「読む」力
- (4) 基礎的な言語事項

3 本年度の指導の重点

(1) 話し合い、聞き合える学習集団づくり

教師と子ども、子ども同士が、互いの意見をしっかり聞き合い、思いを分かち合うことで、心がつながり、温かみのある学習集団が生まれる。そして、自分の発言を受け止めてくれる教師・仲間がいて初めて話すことができる。自分を仲間の中で解放し、互いを認め合い、よりよい学び合いができるような学習集団が基盤となって、互いの思いや考えを生き生きと伝え合うことができるだろう。

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための伝え合う力の育成

子どもたちは、興味関心があること、新たな発見や気づき、驚きや感動があることなどには、自ら進んで思いや考えを表現する。子どもたちの「話したい」「聞きたい」という思いを駆り立てるような題材・課題・発問を設定し、学習内容や学習展開を工夫することで、主体的な伝え合いが生まれ、より学習を深めることができるだろう。

(3) 学習を支える基礎学力の定着

基礎学力は、学習の成立を可能にする基礎的な力であり、身につけていないと学習意欲を損なうことにもなりかねず、この定着は必要不可欠なことである。日常的に基礎学力や伝え合う力を伸ばす機会を多くもつことで、自信をもって学習に臨むことができるだろう。

4 具体的な方策

(1) 話し合い、聞き合える学習集団づくり

- 思いを出し合える仲間づくりをめざして、レポート研修の実施
- 提案授業（人権）・公開授業（人権）を実施

(2) 思考力・判断力・表現力を高めるための伝え合う力の育成【授業づくり】

- 提案授業（国語科）・公開授業の実施
- 子どもたちの実態に基づいた魅力ある題材の設定と教材研究
- 主体的に伝え合える課題や発問、授業展開の工夫
- 自分の考えをより確かなものにするための「書く」活動
- 「伝え合い」に合った学習形態の工夫
- 理解を深めたり、それを表現したりするための音読
- 互いの思いや考えを認め合う場の設定
- 根拠をもとにした自分の考えを表現
- 「話す」「聞く」「話し合う」ための知識・技能の育成

(3) 学習を支える基礎学力の定着【日常活動の充実】

- 基礎学力の把握、学力補充の取り組み（3学年以上 CRT の実施）、朝の学習
- 「話し名人」「聞き名人」「声のものさし」
- 集会活動
- 読み聞かせ
- 漢字の前倒し学習、家庭学習

【研究の構想】

